

【自主】自ら進んで学ぶ生徒【寛容】明朗で思いやりのある生徒【挑戦】健康でたくましい生徒  
～夢の実現～ 〈重点目標〉 目標達成に向けて、ねばり強く努力する生徒

原町三中だより



平成30年2月23日(金)第12号  
発行責任者：校長 熊澤 正人  
TEL 22-3802

# 学校保健委員会と 家庭学習スタンダードについて

報告とお知らせ

## 1月24日(水) 学校保健委員会を開催

～生徒の健康、体力、  
生活習慣について～

中学校では年一回、学校医、学校薬剤師の先生方と学校保健委員会を開催しています。

今回は生徒の①健康診断の結果、②体力・運動能力、③生活習慣について学校側から報告し、意見交換、最後に専門的な立場からのご指導をいただきました。話し合われた内容の一部をご紹介します。

### ◆報告事項についての意見交換

- 肥満傾向の生徒が増えている。ライフスタイルの変化が影響している。
- 徒歩通学は貴重な運動となる。保護者の協力が得られる人から実施してはどうか。
- 肥満傾向が見られる場合、早食い・ジュース類を好み、間食もたくさんしている。
- 毎日の給食に使われている食材を栄養素ごとに分類し掲示することによって、食事に関心をもちバランス良く食べることに繋がるようにしている。
- 福島県は野菜の消費量全国第2位である。せっかく野菜をとっても、栄養が偏って効果がない。エネルギーの過剰摂取の場合もある。
- 肥満解消には、運動と食事の両面から、家族が同じ認識で、家族ぐるみで行うことが大切である。
- 寝る時刻が23時を過ぎた理由の、携帯電話・ゲームについて、親が使用制限のためのフィルターをかける方法がある。

### ◆専門的立場からのご指導

- 薬を使用するとき、注意事項を最後までよく読むこと。必要以上に薬を飲まない。市販薬はあくまでも症状の緩和で、治療薬ではない。
- 百日咳について、2週間以上乾いた咳が続く場合は病院受診を勧めてほしい。

## ふくしまの 『家庭学習スタンダード』の活用で、自分で学習や生活を改善する力を育みます。

去る1月12日(金)に「ふくしまの『家庭学習スタンダード』とその配付について」というプリントを配りました。

「ふくしまの『家庭学習スタンダード』(各家庭に配付済み)は福島県教育委員会が作成しました。生徒の「自分で学習や生活を改善する力」を育むことを目的としています。そのため家庭学習に対して、学校と家庭・地域がそれぞれの役割を理解し、連携・協力して家庭学習の質の向上を図るものです。

### 「自分で学習や生活を改善する力」

- Research** : 自分を知る、課題を知る (リサーチ)
- Plan** : 目標や計画を立てる (プラン)
- Do** : 計画に沿って (ドゥ) 自ら学習する
- Check** (チェック) : 結果や成果を確かめる
- Action** (アクション) : 内容・方法を見直す
- ※RPDCAサイクルといえます。

これは「ご家庭でしっかり勉強をさせてください」という一方的なお願いではありません。学校での指導や取り組み、家庭・地域の関わりについて分かりやすく載っていますので、是非ご一読ください。福島県教育委員会のホームページからも見ることができます。

